

団体運営モンテ

桂木副理事長 退任へ

県サッカー協会会長 J参入に尽力

県サッカー協会会長を長年務め、サッカーJ・モンテディオ山形を運営する

00周年記念・特別功労者
に選ばれたことを節目に
身を引くことにしたとい
う。

副理事長の桂木公平氏(85)が、今年度いっぱい両職を退任する意向を固め、周囲に伝えた。桂木氏は、現在のモンテディオ山形の基礎を作った一人とされる。

桂木氏は1983年から県サッカー協会会長を務め、98年からは21世紀協会副理事長も務めている。

7月に日本体育協会・日本オリンピック委員会創立1

桂木氏は、92年の山形県での「べにばな国体」を見据え、有力選手を県外から招聘するなど山形のサッ

カーの向上に貢献。その後

も、モンテディオ山形の前
身であるNEC山形のチー
ム強化のため、選手の一部
を自らが経営する建設会社

「日本地下水開発」で雇用。
98年のモンテディオ山形の
J2参加承認に際しては、
Jリーグの川淵三郎チェア
マン(当時)と交渉するな
ど尽力した。

県サッカー協会専務理事
の岸慎一さんは、桂木氏に

ついて、「山形のサッカーは東北6県で最下位だったが、国体で成年1部が6位となるまでに引き上げた。山形にJリーグチームが誕生したのは桂木さんの力も大きい」と話す。

桂木氏は「サッカーはボール一つあればできる子どもたちに夢を与えるスポーツ。モンテはJ1から降格してしまったが、県民の宝として、今後もJ1定着や東北ナンバーワンを目指してほしい」と話している。